安全データシート

作成日　1996年12月06日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：Arsenic standard 1000 mg As, (As_2O_5 in H_2O) Titrisol®

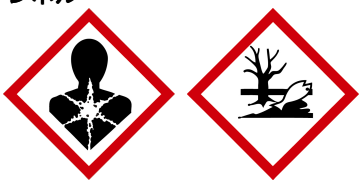
１．化学品及び会社情報

製品番号　：109939
製　品　名　：Arsenic standard 1000 mg As, (As_2O_5 in H_2O) Titrisol®
製品和名　：ヒ素 標準溶液 1000 mg As, (As205 in H20) チトリゾール
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類
健康に対する有害性
発がん性　：　区分1A
環境に対する有害性
水生環境有害性（慢性）　：　区分2

シンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
H350　発がんのおそれ
H411　長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P273　環境への放出は避けること。
P308+P313　ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　混合物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
ヒ酸	3.7%	H_3AsO_4	(1)-33	公表	7778-39-4	231-901-9

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。
汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
医師の診察を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状：
ヒ素およびその化合物は一般に、急性では、吸入：粘膜刺激、呼吸気管に穿孔、誤飲：胃腸障害、慢性では、発疹、皮膚障害、結膜炎、多発性神経障害、肝・腎機能障害などの影響があり、ヒトに対して発がん性がある。

医師に対する特別な注意事項：
情報なし

５．火災時の措置

消火剤：
周辺の貯蔵品に適用される消火剤

不適な消火剤：
特になし

特有の危険有害性：
不燃性
火災時に有害な蒸気を発生する。

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
漏出物との接触を避ける。
蒸気を吸い込まないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
排水溝に蓋をすること。飛散した漏出物は集めて、ポンプですくい取ること。
中和剤で中和し、吸収剤に吸着させて、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

その他：
廃棄物の処理については第13項を参照のこと。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

衛生対策：
Sec.8　漏出時措置の衛生対策　参照のこと。

保管：
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。
関係法規に従い、十分な設備対策を行う。

衛生対策：
適切な保護具を着用し、安全に取り扱うこと。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為の処置を講ずること。

保護具：
保護眼鏡：
保護メガネを使用する。

保護手袋：
保護手袋を使用する。

呼吸用保護具：
蒸気発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

その他：
保護具は、作業場所、有害物の使用量や濃度に応じて選択すること。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	液体
色	：	無色
臭　　い	：	無臭
密　　度	：	1.02 g/cm³ (20℃)
ｐＨ	：	ca. 1.7 (20℃)
蒸 気 圧	：	データなし
沸　　点	：	データなし
引 火 点	：	データなし
自然発火点	：	データなし
爆 発 限 界	：	下限　データなし 上限　データなし
溶 解 性	：	水に溶ける。

１０．安定性及び反応性

安定性：
通常の取扱い条件下では安定である。

危険有害反応可能性：
一般的に水と反応することが知られている。

避けるべき条件：
データなし

混触危険物質：
データなし

危険有害な分解生成物：
データなし

１１．有害性情報

急性毒性：
経皮：
データなし

皮膚刺激性：
データなし

眼刺激性：
データなし

感作性：
データなし

生殖細胞変異原性：
データなし

発がん性：
発がん性のおそれがある。

生殖毒性：
データなし

特定標的臓器毒性-単回ばく露：
データなし

特定標的臓器毒性-反復ばく露：
データなし

吸引性呼吸器有害性：
データなし

追加情報：
毒性に関する量的なデータはない。
ヒ素およびその化合物は一般に、急性では、吸入：粘膜刺激、呼吸気管に穿孔、誤飲：胃腸障害、慢性では、発疹、皮膚障害、結膜炎、多発性神経障害、肝・腎機能障害などの影響があり、ヒトに対して発がん性がある。
この他の有害性を否定することはできないが、それらを予測評価するための充分な知見はない。
適切な安全衛生規定に従って取扱うこと。

１２．環境影響情報

生態毒性：
データなし

残留性・分解性：
データなし

生体蓄積性：
データなし

移動性：

データなし

PBTアセスメント：
化学的安全評価が不要または実施されていないため、PBT/vPvB 評価データはない。

その他：
自然水、下水、土壌の汚染を避ける。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

１４．輸送上の注意

国連番号　：1556
品名　　：ARSENIC COMPOUND, LIQUID, N.O.S.
クラス　：6.1/II

国内規制：
毒物及び劇物取締法：医薬用外毒物　　（ヒ酸）

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

ヒ酸
毒物及び劇物取締法：毒物　　政令番号：指定毒物 23
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：特定第1種指定化学物質　　政令番号：332
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第2類物質

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい